

※ 平成29年度努力目標と反省点・改善点 ※

大項目	小項目	重点目標	反省点	改善点
学校経営	工業科、普通科、総合学科の特色を生かした魅力ある教育活動の実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくりの楽しさや社会的重要性を理解し、将来の工業技術者としての夢や目標を涵養する</li> <li>生徒が、様々な学習機会を通じて自己の興味・関心・目標を探索・設定し、それに沿った上級学校への進学実現</li> <li>総合学科の特色である「生徒が主体的に学ぶ」姿勢を涵養するとともに、福祉、情報ビジネス、国際の3系列の特色を生かした教育の実践に努める</li> <li>基礎学力の定着と生徒が希望する進路を実現できるような教育活動の実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>熊本地震によって被災した実習教室等の仮設施設が完成し、昨年より充実した実習等を行う事ができた</li> <li>ジュニアマイスターゴールドを始め、多くの資格を取得する生徒が見られた。特に久しぶりに電気工士1級の資格を取得した生徒が現れた事は、生徒本人の努力もさることながら指導にあたった教員の熱意に負うところが大きかった</li> <li>震災被害による実習施設の制約にも拘らず、教員の創意工夫によって福祉関係の実習等を行い、例年と同程度の人数の介護福祉初任者研修を修了させる事ができた。</li> <li>韓国・米国・台湾との国際交流を積極的に行う事ができた</li> <li>商業系の分野で新しい資格試験を始める事が出来た</li> <li>例年並みの進学実績を残す事が出来た他、普通科独自の行事を企画し、生徒が楽しく学校生活を送れるように工夫が出来た</li> <li>授業や生徒指導において教員間に熱意の差が見られた</li> <li>実習内容がマンネリ化している</li> <li>自らの専門教科についての研究が足りない教員が見られた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習施設等の復旧に向けて学校として更に努力する</li> <li>IT技術の授業への活用・導入についての研究を進める</li> <li>教員自らが最新の工業技術について学習に努める</li> <li>生徒に対して資格取得を積極的に働きかけ、課外等の充実によって合格率の向上を図る</li> <li>楽しい授業を行うためのアクティブラーニングの研究</li> <li>大学入試制度改革に対応した教育課程・授業内容の研究と実践</li> <li>実習や授業内容の見直しと研究</li> <li>教職員への研修の充実</li> </ul>
	健康的な生活習慣の定着と、高校生として望ましい心と体の育成、生徒の個性に応じたきめ細かい指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の確立</li> <li>生徒が安全・安心して学校生活が営めるような環境づくり</li> <li>災害・事故等に対する危機管理体制の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年に引き続き防災訓練を実施し、職員・生徒への防災意識の向上に繋げることができた</li> <li>学校施設の修復・復旧が進めることができた</li> <li>自転車通学生の交通マナーについて学校への苦情が見られた</li> <li>ネットゲームに熱中する余り、生活習慣が乱れて不登校に繋がった生徒が少なからず見られた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校施設の復旧を更に進める</li> <li>学校事故・自然災害の予防と対策について更に研究・実践に努める</li> <li>学校として交通安全教育の充実を図るとともに、HR活動等を通じて日常的に交通マナーの遵守について指導にあたる</li> <li>家庭と連携し、SNSやインターネットの使用について注意・指導を徹底していく</li> </ul>
	生徒・保護者からの相談に対する適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>悩みを抱えた生徒が教師に気軽に相談できる雰囲気づくり</li> <li>保健室やスクールカウンセラーを中心としたカウンセリング機能の充実</li> <li>生徒・保護者からの相談に対し、担任・科長を中心に学校全体として取組む体制づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健室やスクールカウンセラーが利用し易くなった</li> <li>養護教諭・スクールカウンセラー・SSWとの連携が上手く機能し、悩みや問題を抱える生徒や保護者の相談に対応する事が出来た</li> <li>スクールカウンセラーやSSWについて、保護者への周知が徹底しなかった</li> <li>各科の問題について積極的に取組む姿勢が一部学科長に見られなかった</li> <li>担任や担当以外の職員に生徒の相談窓口としての役割を積極的に果たそうという姿勢が余り見られなかった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スクールカウンセラーやSSWについて、保護者への周知徹底に努める</li> <li>生徒・保護者からの相談体制・組織を明確化する</li> <li>研修等を通じて職員の意識改革を図る</li> </ul>
学力向上	指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員が自らの資質向上を図り、わかりやすい授業づくりを行うための教材研究や自己研鑽に努める。</li> <li>個々の生徒に応じた学習指導を心掛ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>雑務に追われたり、各人の意識の濃淡が激しかったりして自己研鑽はあまりなされていない。</li> <li>年間通した「不断の努力」を心掛ける必要がある。</li> <li>生徒の多様化に応じ切れていない。</li> <li>個別指導の時間がとれなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員間の教材研究及び、期間を設けて研究授業を行う。</li> <li>レベルに合わせた課題づくり。</li> <li>担任と連携を取り生徒の把握に努める。</li> <li>ICT教育に向け音声、視覚、に重点を置いた授業の実施。</li> <li>背景知識等の事前学習をさせる。</li> </ul>
	基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>宿題などを活用し、基礎学力の定着を図るように日々指導する。</li> <li>家庭学習の習慣を身につけるように促す。</li> <li>必要に応じて個別の学習指導や添削を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宿題の目的を果たしているか、課題内容等の見直しが必要な時期ではないか。</li> <li>授業に集中させる環境作りができていない。</li> <li>努力されている先生方が多い。</li> <li>高校入学後新しい環境で苦手教科に興味を持つことで基礎学力が身についた生徒が見受けられた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提出の徹底をさせる。</li> <li>担任、授業担当者が諦めることなく言い続ける。</li> <li>中学校での内容の学び直しに時間をとる。</li> <li>新課程、新テストに合わせたカリキュラムの改善も考えていく必要がある。</li> <li>単語テストの結果を掲示し生徒もモチベーションをアップさせる。</li> </ul>
生徒指導	基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>心を込めて挨拶のできる生徒を育成する。教師から先ず挨拶を行う</li> <li>校内外のルールを守り、服装・頭髪に気を配り、自分らしさを表現できる生徒の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶は良くできていたが、服装、頭髪に関してはもう少し改善していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度から男女別に頭髪・服装検査を行い、一人一人丁寧に対応していく</li> </ul>
	命を尊び、心身共に健康な人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通ルールの遵守、交通モラルの確立を図る</li> <li>他者を理解し思いやるとともに、自分を高め充実した校内生活を送らせる</li> <li>生徒指導について、生徒の人権に配慮し、生徒の内面と向かい合いながら自分を見つめなおす機会を持たせる</li> <li>自己管理能力の育成(情報モラルの高揚、貴重品等の管理)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通ルール、モラルにおいては生徒の意識が若干、薄いところもあった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通教室、学年集会などで講話を行い、意識向上に努める</li> </ul>
	自主的に行動できる意欲ある生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の清掃活動及び校内の美化に積極的に取り組み、施設・設備を大切に扱う心を育てる</li> <li>地域の清掃活動等を通して奉仕の心を育てる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝から部活動生が率先して校内外の清掃活動をおこない、地域に貢献した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動生だけではなく、全校生徒で取り組む活動を考える</li> </ul>
進路指導	進路に関する意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>LHRや総合的な学習の時間の活用だけでなく日々の授業においても進路意識を高める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年全体で取り組む時間が例年よりはとれなかった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラス単位での統一した指導も充実していく</li> </ul>
	進路情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年団と進路指導部の連携により生徒情報を共有し、就職・進学委員の活用により進路に関する情報をクラスに伝達する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒にはできたと思うが保護者に伝わっていない部分があったようである</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者にに向けた情報提供をより強化する</li> </ul>
	進路相談の充実と環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路指導室の機能と指導環境の整備を図り、生徒・保護者・教職員の相談に対応できる態勢を整える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談に来た生徒・保護者への対応はできていたと思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者も含め、対応力をさらに強化する</li> </ul>
特別活動	学校行事の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容を工夫し、生徒の良き思い出となるような行事を1つでも多く行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在校生にとって初めてとなる開新祭(文化祭)を実施したことで、多くの生徒が満足していたように思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開新祭での一般公開やクラスマッチのチーム編成などの要望も上がったので、見直しを図りたい。</li> </ul>
	クラブ活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラブ活動の推進と活性化を図る</li> <li>クラブ活動と学業の両立を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育館や武道場も復旧し、どのクラブも活発に活動することができた。学業との両立についても、ほとんどの生徒が自覚を持って学校生活を送ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>震災復旧工事もまだ完了しておらず、満足のいく練習ができないクラブもあるが、与えられた環境の中で精一杯努力してもらいたい。</li> </ul>
	生徒会活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員会活動を充実させる</li> <li>ボランティア活動を充実させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員会活動については、各委員会により若干の温度差が感じられた。校内外のボランティア活動は、生徒会役員を中心に積極的に参加することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員会活動は少しずつ活動の場を増やしていきたい。愛校心を育てる意味でも、全校規模で実施できるようなボランティア活動を考えたい。</li> </ul>
安全健康	健康教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>心身を鍛え、自ら健康で衛生的な生活習慣の推進を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>心身の健康のバランスや生活習慣の改善についての啓蒙が必要だと感じている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒とのコミュニケーションを通してさらに生徒の実態把握に努め、心身の健康への関心を高める。</li> </ul>
	教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校内外の環境美化の推進と安全な教育環境による事故・怪我の防止を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育館や武道場の改築に伴い、教育環境の不十分な時期があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>整った環境でさらに安全な環境推進に努める。</li> </ul>
	教育相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>面談等を通じて生徒の実態把握に取組み、担任や養護教諭と連携を図る</li> <li>スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携し、生徒の悩みや相談に適切に対応する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒についての実態把握や共通理解に関して、連携を図ることができたように思う。</li> <li>カウンセリング利用について、知らなかったとの意見もあり、情報発信が足りなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カウンセリング利用に関して、新入生招集日や保護者会等、様々な機会を通じて保護者への周知を図る。</li> </ul>